

お元気ですか

つかじさちの



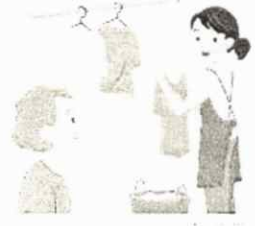
メール便



日本共産党高知県議会活動報告ニュース
2024年 9月29日発行
電話 088-823-9524 (議会控室)
088-843-9281 (自宅/F兼)

国が訪問介護報酬引き下げ 『介護危機』深刻

訪問介護が町から無くなる、どう生活を守るのか



介護事業所倒産、過去最多

今年の4月、国は訪問介護の介護報酬を引き下げました。この影響で人手不足も深刻化、事業所の倒産も増え、東京リサーチの調査では、今年1月～8月期の倒産が114件と、前年同期で見れば1・44倍へ増、過去最多を更新しました。

このデータによる倒産件数は、1千万円以上の累積赤字の企業です。実態は、赤字が増える前に廃業する所が多く、この数は氷山の一角です。

保険料払ってサービスなしか

介護施設がない自治体が増えていますが、県内の訪問介護の実態は大川村で訪問介護事業が休止となり、四十町では、社会福祉協議会が担っていましたが、できなくなっています。高齢者や家族の皆さんの不安は計り知れません。介護保険料を払い続けて来たのに、いざ使おうと思うと事業所が地元が無い、隣の町から来てもらえない状況です。

高知県は中山間地で訪問に20分以上かかる場合は県独自の支援をしていますが、それでも全体を見れば国が繰り返す、報酬引き下げによって経営難、休止や廃止が増えてきています。

働きがいある介護にするために

訪問・介護事業所やヘルパーさん達から、苦しいの声が寄せられています。先日、地元新聞も連載しましたが、高知の介護危機は深刻で、大事なヘルパーさんに対するパワハラ、セクハラなど人権侵害も起きています。背景には介護の仕事の低く見る風潮があるからです。介護職が足りず事業所が成り立たない状況であり、働く環境や賃金の改善は待たない状況です。

介護を重要な産業、雇用の場と位置づけ、町を作る事が、家や田畑を守る事にもなり、若者が帰りたいと思う町になるのではないのでしょうか。

赤旗まつり 2000人 大盛況

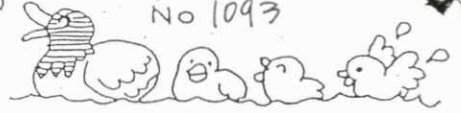
→左から、沢川ゆりこさん、山下副委員長、白川まゆみさん、仁比とうへいさん



↑タコ焼き店を賑わす、市議会

なるがも日記

No 1093



第16回高知赤旗まつりが23日祝日、高知市中央公園で開催されました。

この上ないお天気に恵まれ、人も超える人が参加して下さり、大いに盛り上がりました。開催に協力して下さったみなさんに、心から感謝甲あげます。

能登では、地震被害の復旧もままならない上に、今回の豪雨被害も心折れそうでした。この被災者の声の言葉に胸が痛みます。まつりの会場でも募金を訴えましたが、支援活動に取り組んでいきます。